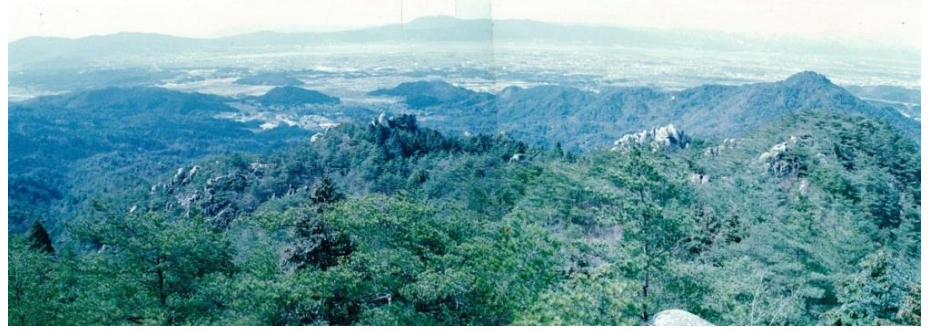
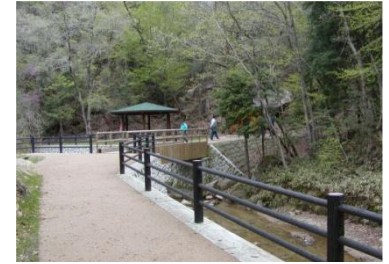


40 禿げ山から地域に親しまれる森林に復旧した田上山の治山事業 滋賀県（大津市・栗東市）



施工前の荒廃状況（昭和20年）

成林状況（平成4年）



施工中の状況（大正3年）

遊歩道の整備状況（平成12年～平成15年）



○所在場所

滋賀県大津市上田上桐生町ほか
一丈野国有林・金勝山国有林

○施設・工法の概要

事業面積 約1,200ha（管理道約4km）
植栽・床固工・遊歩道等

○解説

一丈野国有林・金勝山国有林は、かつてスギ、ヒノキの美林に覆われていましたが、万葉の時代から度重なる遷都や社寺の建立のために伐採が行われたとされ、江戸時代には「田上の禿げ」として全国に知られる荒涼とした山地帯となりました。降雨の度に土砂流出が発生し、下流の人々を苦しめてきました。このため、明治時代から現在に至るまで、樹木の植栽を主とした治山工事が行われた結果、緑はよみがえり、清流と四季折々の美しい景観が多くの人々を楽しませています。



人力による作業状況